

带状疱疹発症後6カ月

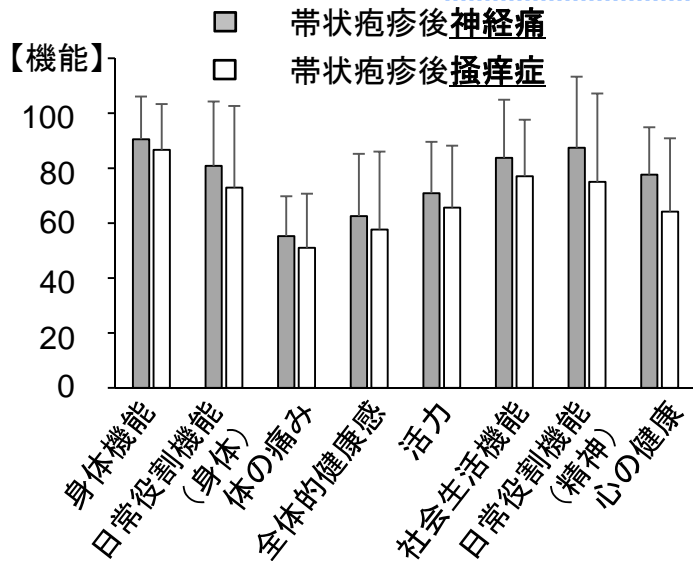
带状疱疹後の強い痒みについて

海外での症例

獨協医科大学医学部麻酔科学講座 山口重樹



- ・多くの患者が带状疱疹による“神経痛(带状疱疹後神経痛)”のみならず，“痒み(带状疱疹後掻痒)”も自覚し、耐え難い痒みを自覚することもあります。
- ・带状疱疹後掻痒は、女性に多く、頭部・顔面・頸部の带状疱疹に多く、夜間に痒みを自覚することが多いなどの特徴があります。



- ・強い痒みを訴える場合、神経痛と同様に生活の質が著しく低下します(左のグラフ)。
- ・通常の痒み(例えばアトピー性皮膚炎)とは異なり、带状疱疹後掻痒は神経の障害が原因と考えられています。
- ・带状疱疹後掻痒の治療法は、確立されておらず、薬に抵抗する場合があります。
- ・強い痒みが出現することを予防する手段としては、带状疱疹を発症する前の予防接種の投与や带状疱疹の早期発見と抗ウイルス薬の投与などです。

【メッセージ】带状疱疹後には神経痛と共に激しい痒みが残ることがあります。带状疱疹後の痒みはアトピー性皮膚炎などの痒みとは異なり、神経の障害が原因で治療に難渋することもあります。そのため、带状疱疹後の深刻な痒みが残らないようにするために、水痘・带状疱疹ウイルスの予防接種を受ける、罹患後早期に適切な抗ウイルス薬の投与を受けるなどの対応により、带状疱疹を重症化しないことが推奨されます。